

【施策評価調査】

施策名	2-1-3	こころの健康づくり		85	施策目的 こころの悩みを相談します。 自分にあった趣味や生きがいを持ち、ストレスを解消します。 子どもが家庭で安全で安心して過ごせるようにします。 ・遊びの教室や親子運動教室を開催し、気軽に相談しやすい体制を作っていくこと、高齢者に対しては生きがいづくりを支援していく。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 リーダー	健康づくり担当 荻原 敏子		
環境変化	いじめ対策や、虐待防止が重要である。				施策内容 こころの健康に関する正しい知識の普及に努めるとともに、専門職によるこころの健康相談を充実させ、こころの病気への早期対処を促します。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:年間相談件数(件)	H16年度実績	計画	100件	120件	140件	180件	200件
	70件	実績	↑ 106件	↓ 102件	↓ 73件	↓ 79件	
指標②:育児中の母親がストレスを感じる割合(%)	H16年度実績	計画	19.0%	18.0%	17.0%	16.0%	15.0%
	20.6%	実績	↓ 22.10%	↓ 23.00%	↓ 23.60%	↓ 25.10%	
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	392,600	683,000	1,289,000	1,118,000	
	決算	392,025	666,484	1,054,967	949,063	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①こころの健康づくり推進事業費	当初 1,118,000	心理相談件数	A	相談者の不安の軽減となり、サービスや医療につなげることができた。			
	決算 949,063	79件 / 180件		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	ストレスを感じる人が増えているが、相談者は減っている。子育て世代ではささいなことが気になるようであるが、教室や相談を利用することにより、ストレスを感じる度合いは減っているようである。初めての試みとして精神科医による相談を実施した。不安を感じるが精神科を受診をためらう人等に対し、医師から適切な助言がされ、安心した人や受診を勧められた人もおり適切な対処ができたと思う。	子育て世代への育児不安への相談体制は整ってきたと思われる。今後は全国的に問題となっている自殺対策への対応として、相談体制の整備が必要。
総合評価	育児ストレスに対するフォローは評価する。 現下の社会情勢を踏まえた上で、県やNPOの動向を見ながら、町としてすべきことを見極め、役割分担を明確にするとともに、こどもみらい課と連携した施策展開を検討すること。	